

美瑛町

美瑛町立美瑛中学校
学校だより
令和7年2月号

「1月いく、2月にげる、3月さ・・・」

校長 金山 達也

2月4日、角和町長を学校にお招きし、町内の2学年の生徒に向けて、講話をしていただきました。美瑛町の現状を丁寧に説明していただき、これからの美瑛町に必要なことなどを、ぜひ考えて欲しいというねらいで実施しました。「美瑛町のブランド化」「NISSANとの提携」「関係人口増加の取組」「移住サポート」「ゼロカーボンシティへ」など、様々なキーワードが生徒たちの頭の中を駆け巡りました。その後のグループワークでは、『町の人口減少対策として、美瑛町が魅力的な町であり続けられるアイデアを考えよう』というテーマのもと、話し合いを行いました。「自然と融合し、美瑛町の美味しいものが食べられるエスコンフィールドのような施設を作る」「観光客に対応するための英語教育の強化」「ゴミ拾いエコツアーの実施」「農業への関心を高めるための子どもへの地域活動の実施」など様々な意見が発表されていました。この取組は、キャリア教育の一貫として、今年で3年目の実施となりました。1年時に実施する「職場訪問学習」「木育教育」や2年時の「職場体験学習」「町長講話」をもとに、3年時では、3年間のまとめとして、資料を作成し、プレゼンテーションを実施します。

『未来を見据え限らない可能性に駆ける生徒の育成』は美瑛中学校の教育目標です。平成12年に掲げられ、以来25年にわたって、生徒・保護者・教職員が目指してきた目標です。四半世紀が経過してもなお色あせない言葉に私は思います。美瑛町の将来、北海道や日本の将来を担う子どもたちを育てるために、今、学校で何ができるのかを考えない日はありません。世界各地で起きている戦争や紛争から、SNSのトラブルや闇バイトなどの日常の問題まで、子どもたちを取り巻く環境は、残念ながら決してよい状態とは言えません。自分自身を守る、周囲の人を守る、よりよく生きる、夢を実現する・・・そのために必要な力をこの3年間で少しでも身につけてほしいと願わずにはられません。

最後に、表題の意味ですが、年が明けてからの3月までは、恒例行事やイベントが多く、あっという間に過ぎてしまうということを意味しています。いよいよ3月を迎えます。1年の締めくくりとして、新たな1年のスタートに向けた準備をしっかりと行いましょう。

ちなみに、みなさんはこの「3月さ・・・」にどんな言葉をあてはめますか？

美瑛中生、さまざまな場所で躍動

【中体連スキー】

1月16日～18日、旭川市のカムイスキーリンクスでアルペンの全道大会が行われ、1年の梶浦杏奈さんが出場しました。また1月10日～12日には名寄市においてクロスカントリーの全道大会が開催され、1年の村上凱さん、古屋朔太郎さん、長澤征史朗さんが出場しました。いずれも全国大会には進めなかったものの、日頃の練習の成果を発揮すべく全力で挑むことができました。



【少年の主張】

1月18日、町民センター「美丘ホール」にて、美瑛町「少年の主張」発表大会が開催されました。本校から出場した6名は、緊張の中、自分の考えを立派に述べておりました。令和7年度上川管内の主張大会には、美瑛町代表として岡崎亜朱香さんが選ばれました。

- 最優秀賞 岩渕乃愛さん
「音のない世界を考える」
- 優秀賞 岡崎亜朱香さん
「誰もが過ごしやすい社会に」
- 優秀賞 本山敢士さん 「たった一人の卒業生」
- 優良賞 福田彩乃さん、植村心奏さん、荒明美羽さん



【アンサンブルコンテスト】

1月18日、北海道管楽器個人コンテスト・北海道アンサンブルコンテストの旭川地区予選が行われました。本校からは個人の部に2年羽山あさひさん、アンサンブルの部に2年相澤みすずさん、西長歩彩さん、久川志乃さん、岡崎亜朱香さん、羽山あさひさん、橋本周さん、1年今野詞音さんが出場しました。結果はどちらも銀賞でしたが、他の上位に入賞した学校にも引けを取らない素晴らしい演奏でした。



【「美しい村びえいを描こう」コンクール】

今年度も1年生が美術で取り組んだ絵画をコンクールに応募しました。
《最優秀賞》 原ちたるさん 《優秀賞》 本保愛椛さん
《入賞》 佐藤心優さん、古屋朔太郎さん、栗原季杜さん、今野詞音さん
以上6名が入賞しました。どの絵も丁寧な仕上がりで素敵な作品でした。